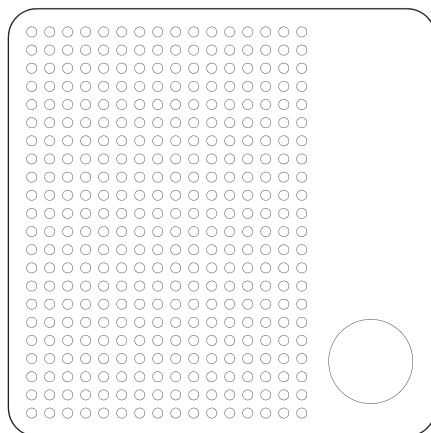
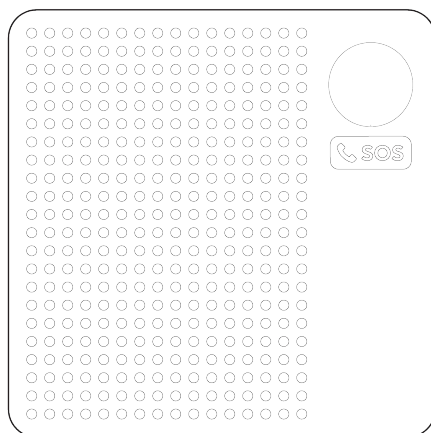


TS12

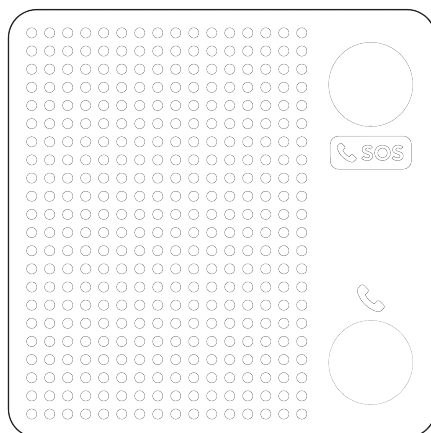
正方形 音声インターホン



TS12-N



TS12-N-RB



TS12-N-R2B

ドキュメント

ドキュメントの詳細

バージョン

V1.0 (20260108)

(V1.0 2026年1月8日公開済み)

ファームウェア

ファームウェアのバージョンは、Verkada Command (command.verkada.com) で確認できます。

製品モデル

これは次のモデルの設置ガイドです。

TS12-N-HW

TS12-N-RB-HW

TS12-N-R2B-HW

© Copyright 2026 Verkada Inc. 無断複写・転載を禁じます。

Verkada および Verkada ロゴは、Verkada Inc. (「Verkada」) の登録商標またはサービスマークです。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Verkada は、随時予告なしに本ドキュメントを変更することがあります。掲載されている情報は不正確または古い情報である可能性があり、Verkada は本ドキュメントの内容を維持、管理する義務を負いません。すべての情報は「現状有姿」で記載されており、明示または黙示を問わず、一切の保証をいたしません。Verkada は、本ドキュメントの使用に起因するあらゆる損害（直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、または結果的損害を含むがこれらに限定されない）に対する責任を負いません。

Verkada 製品に関する知的財産権は、すべて Verkada の独占的な所有物であり、Verkada に帰属するものとします。Verkada 製品の使用に関しては、Verkada のエンドユーザー契約または Verkada とのその他の締結された契約に従うものとします。Verkada 製品を使用または配布するための明示的または黙示的なライセンスが、本ドキュメントにより付与されることはありません。

Verkada の事前の書面による同意がない限り、本ドキュメントの販売、再販、使用許諾、再許諾を行うことはできず、譲渡することもできません。Verkada の書面による明示的な同意がない限り、本ドキュメントの全部または一部を複製することはできません。

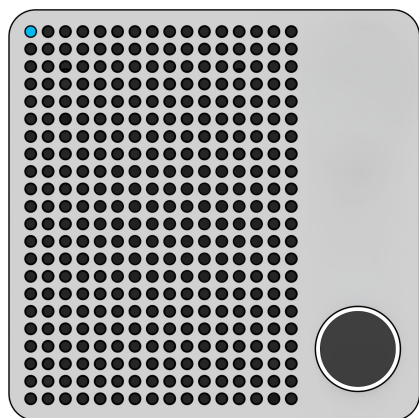


はじめに

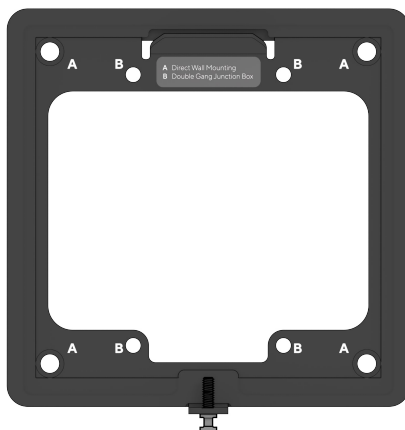
技術仕様

音声ストリーミング	エコーキャンセルとノイズ低減を備えた双方向全二重通信
音声出力	8 Wスピーカー (1 m / 3.3 フィート地点で 95 dB SPL)
音声入力	無指向性デジタル MEMSマイク4個
オンボードストレージ	32 GB
入力／出力	ドライ接点入力 2 点 ドライ接点リレー 1 点、30 VDC @ 1 A (負荷抵抗) RS-485 インターフェース 1 個 電源出力 1 個、12 V @ 250 mA オーディオライン出力 (1 Vrms) 1 個またはアンプ出力 (4 Ω で 16 W、または 8 Ω で 8 W)
寸法	128 mm (長さ) x 128 mm (幅) x 61 mm (高さ) 5 インチ (長さ) x 5 インチ (幅) x 2.4 インチ (高さ)
重量	800 g / 1.8 ポンド
タンパー検知	加速度計
耐性等級	IK10、IP69
動作仕様	IEEE 802.3af (PoE): 動作温度: -20 ~ 50°C / -4 ~ 122°F IEEE 802.3at または 802.3bt (PoE+ または PoE++): 動作温度: -40 ~ 50°C / -40 ~ 122°F
コンプライアンス	申請中: FCC Part 15B Class B、ICES-003 Class B、CE、UKCA、RCM、UL / IEC 62368-1、CSA NO22.2 62368-1、UL 294 および ULC 60839-11-1 Listed Outdoor
接続方法	イーサネット: ネットワーク / PoE 接続用の 10 / 100 / 1000 Mbps RJ-45 ケーブルコネクタ
付属品	T10 ドライバー、取付用ハードウェアキット
その他の付属品 (任意)	サーフェスマウントボックス、緊急アダプタプレート、2 線式 PoE コンバータ

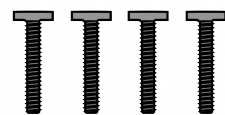
はじめに 同梱物



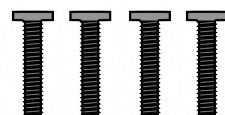
音声インターホン



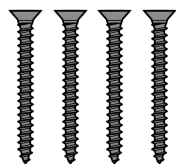
取付プレート(デバイス
に装着済み)



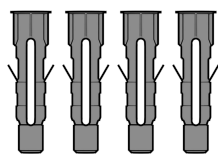
ジャンクションボックスのネジ
#6~32(4本)長さ: 0.5インチ ドライブ: #2
プラスドライバー



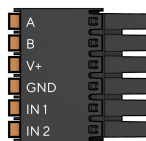
ジャンクションボックスのネジ #8~32(4
本)長さ: 0.5インチ ドライブ: #2プラスドライバー



壁用ネジ(4個)
長さ: 1.5インチ ドライブ: #2プラスドライバー



壁用アンカー(4個)
長さ: 25 mm



ターミナルブロック
(デバイスに装着済み)

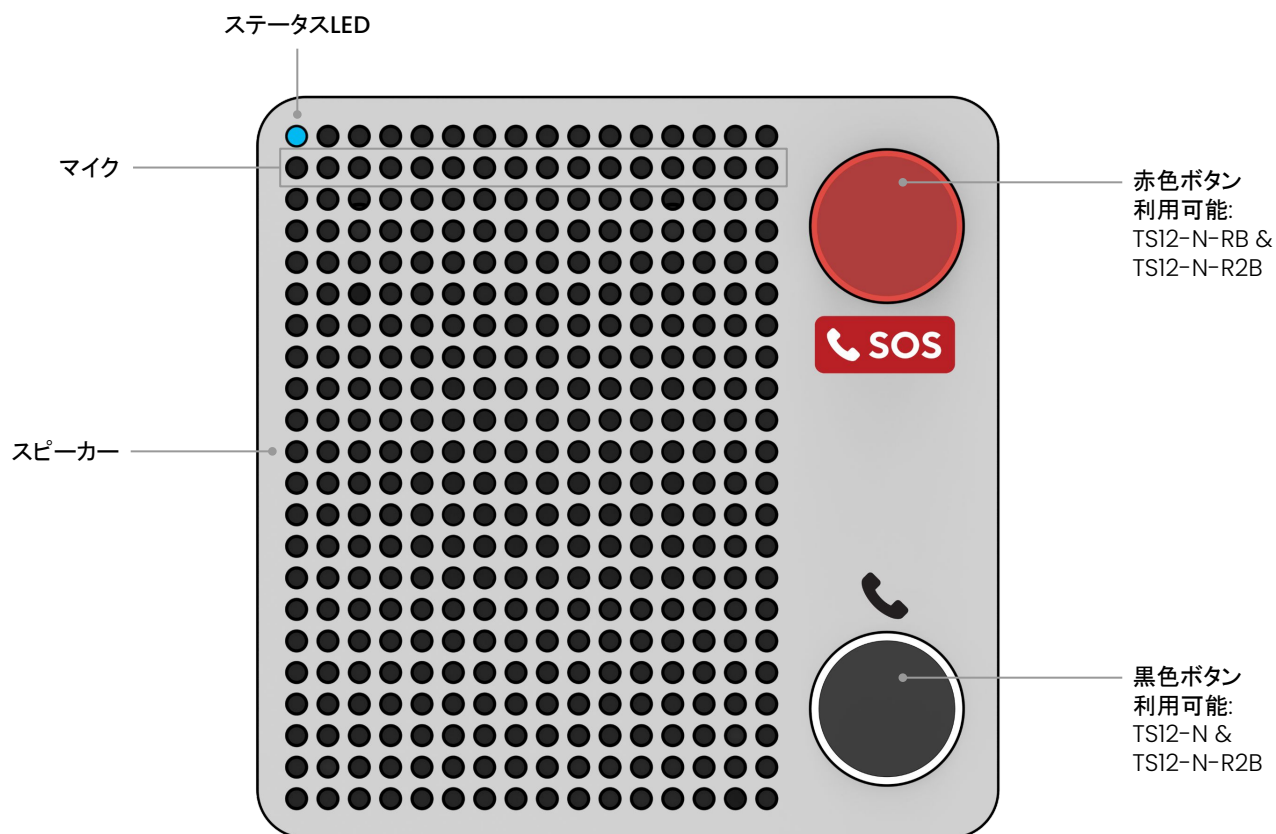


T10トルクスセキュリティドライバー

必要なもの

- スマートフォンまたはノートパソコン
- 壁用アンカー向けの1/4インチ(6.5 mm)ドリルビット(取付プレートを使用する場合)
- 下穴用の1/8インチ(3 mm)ドリルビット(取付プレートを使用する場合)
- 外径0.2~0.25インチ(5~6.5 mm)のCat5またはCat6イーサネットケーブル

はじめに
概要: 前面



ステータスLEDの動作

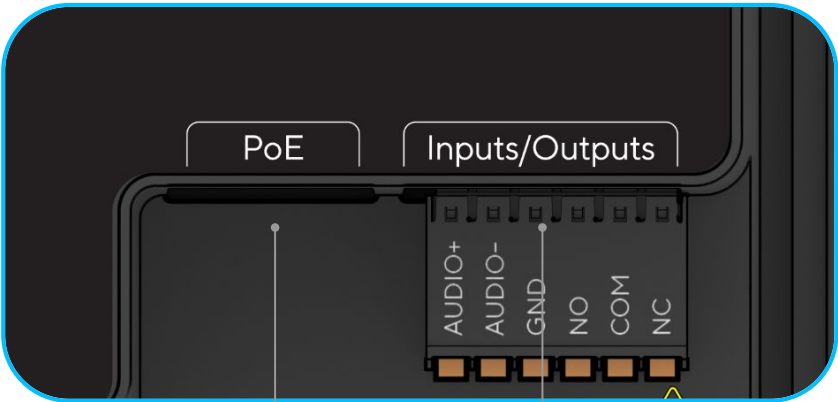
- オレンジ色の点灯
インターホンがオンで起動中です。
- ☀ オレンジ色の点滅
インターホンがファームウェアを更新しています。
- 青色の点灯
インターホンが作動中でオンラインです。
- ☀ 青色の点滅
インターホンが作動中でオフラインです。

黒色ボタンLEDの動作

- 白色の点滅
起動中
- 白色の点灯
通話準備完了
- 青色の回転
通話
- 青色の点灯
通話接続完了
- 緑色の点灯
ロック解除済み

赤色ボタンLEDの動作

- 白色の点滅
起動中
- 赤色の点灯
通話準備完了
- 点滅 赤色
通話
- 青色の点灯
通話接続完了
- 緑色の点灯
ロック解除済み

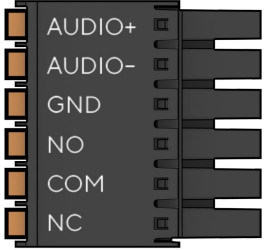


PoE入力
イーサネット (RJ45)

I/Oコネクタ
入力/出力

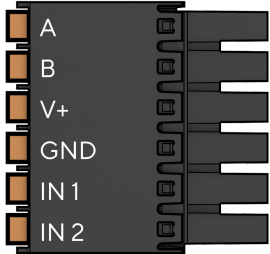


音声出力	アンプ/ライン出力 +
	アンプ/ライン出力 -
接地	接地
出力リレー	ノーマルオープン
	共通
	ノーマルクローズ



I/Oターミナルブロック
前面

RS-485	RS-485 A
	RS-485 B
リーダー電力	12 V +
	接地
入力1~2	入力1
	入力2



I/Oターミナルブロック
背面

準備

デバイスの接続

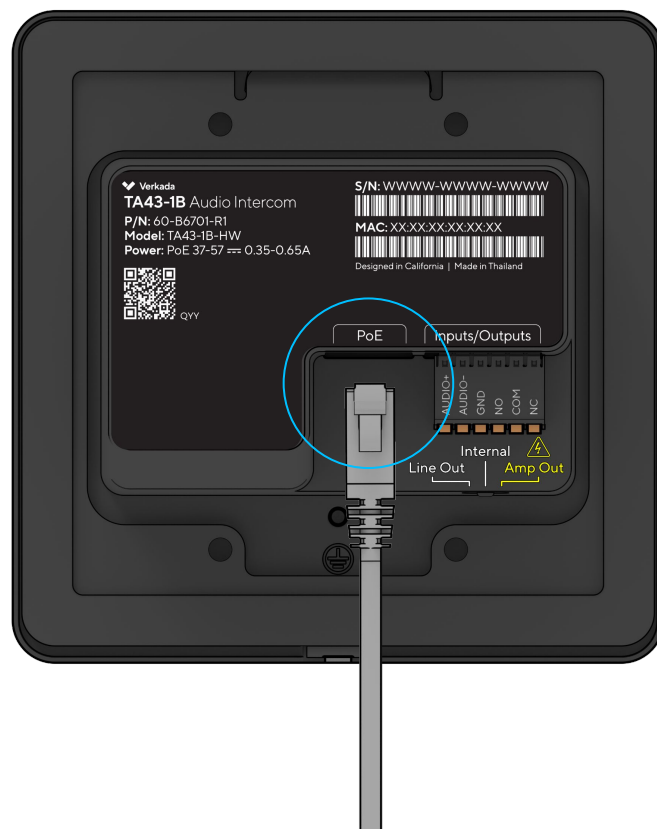
注: この手順は取り付け後に行うこともできますが、先に製品を登録することで、取り付け前に製品の動作を確認できます。

デバイスのケーブルドアの裏側にあるイーサネットポートを使ってTS12をネットワークに接続します。

製品のQRコードをスキャンすると、登録と設定を簡単に行うことができます。

手動での製品登録をご希望の場合は、こちらのURLにアクセスしてください: verkada.com/start

デバイスの背面、パッケージ、または注文番号に印刷されているシリアル番号を入力してください。



準備

取り付けオプション

正方形音声インターホンの場合は、取り付け面にダブルギャングサイズの切り欠きが必要です。ダブルギャングボックスに直接固定するか、付属の取付プレートを使用して壁面に直接固定できます。次のページでは、両方の設置オプションの概要を説明します。

壁面への直付け



ダブルギャングジャンクションボックスの取り付け

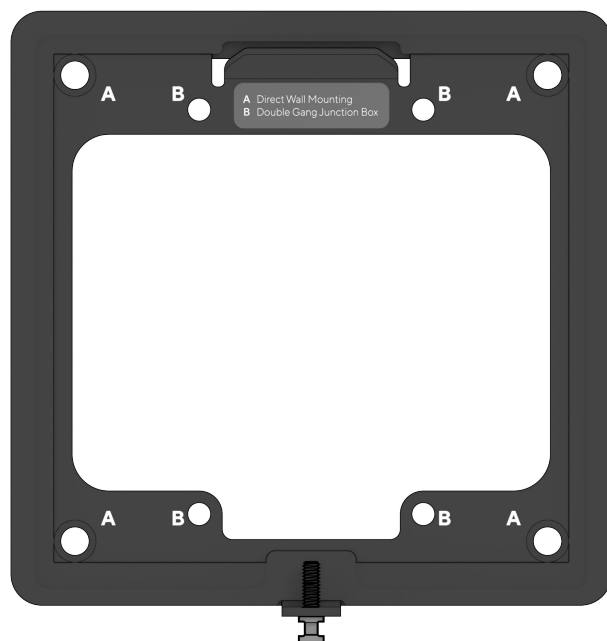


取付プレート

取付プレートには、以下の取り付け条件に対応する穴パターンがあります。

A 壁面への直付け

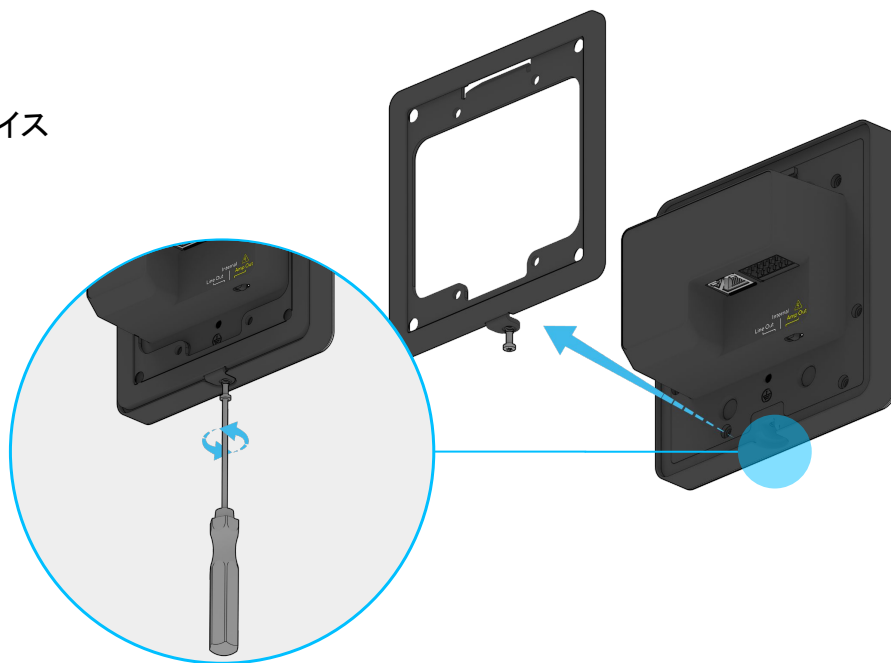
B ダブルギャングジャンクションボックスの取り付け



設置方法

壁面への直付け 1/2

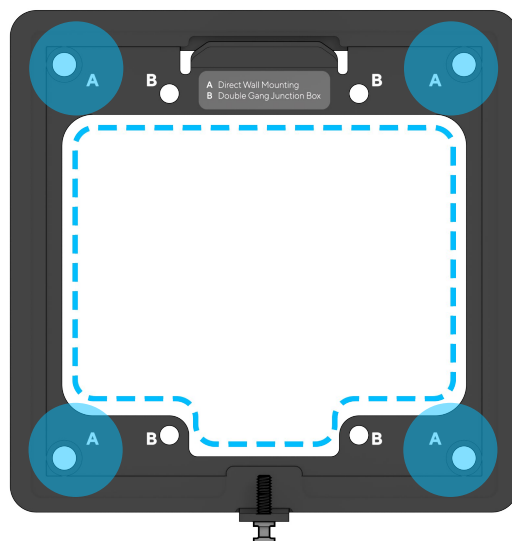
安全ネジを緩め、取付プレートをデバイスから取り外します。



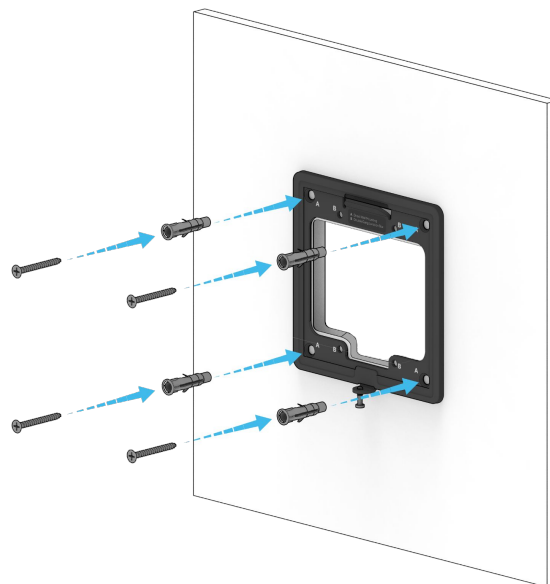
取付プレートをテンプレートとして使用し、取り付け穴(A)と中央の切り欠きに印を付けます。

ドリルで5/64インチ(2 mm)の下穴を開けます。

壁用アンカーを使用する場合はドリルで1/4インチ(6 mm)の下穴を開けます。



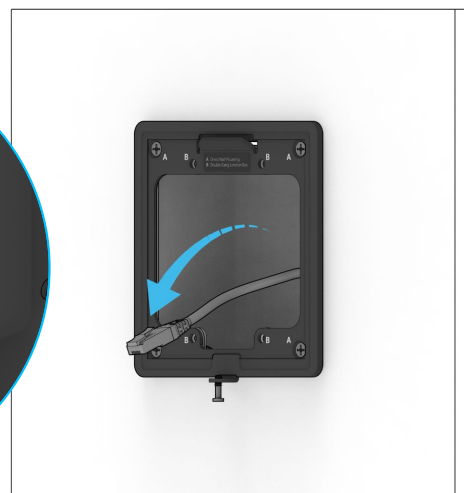
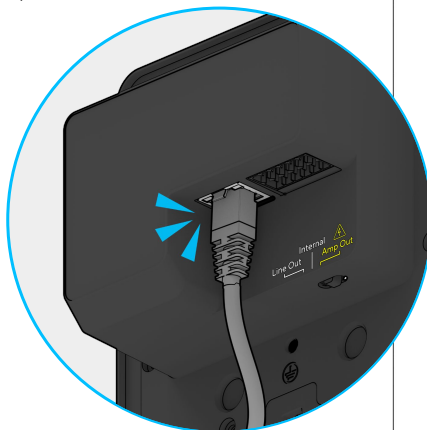
壁用ネジを使用して、取付プレートを壁に固定します。



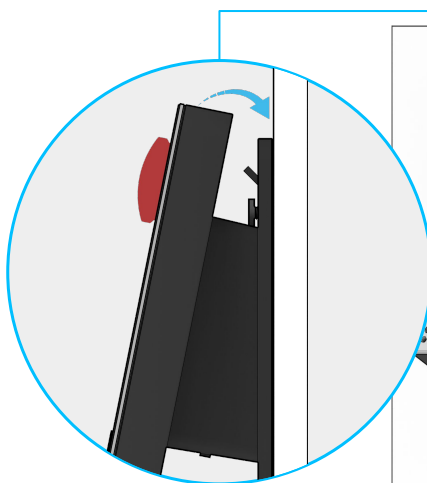
設置方法

壁面への直付け 2/2

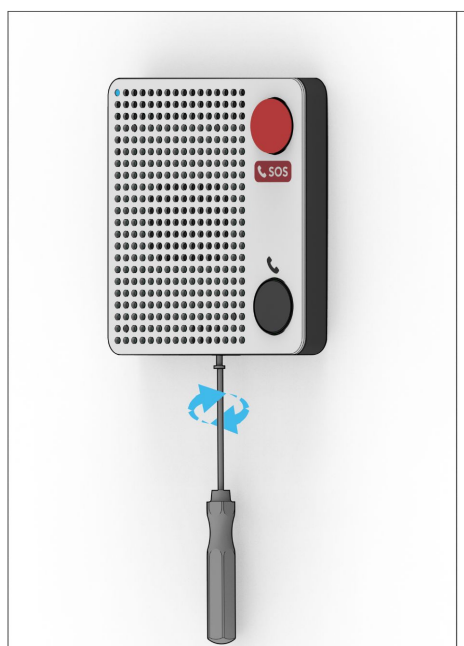
イーサネットケーブルを取付プレートに通して、デバイスに差し込みます。



デバイスを取付プレートに引っ掛けます。



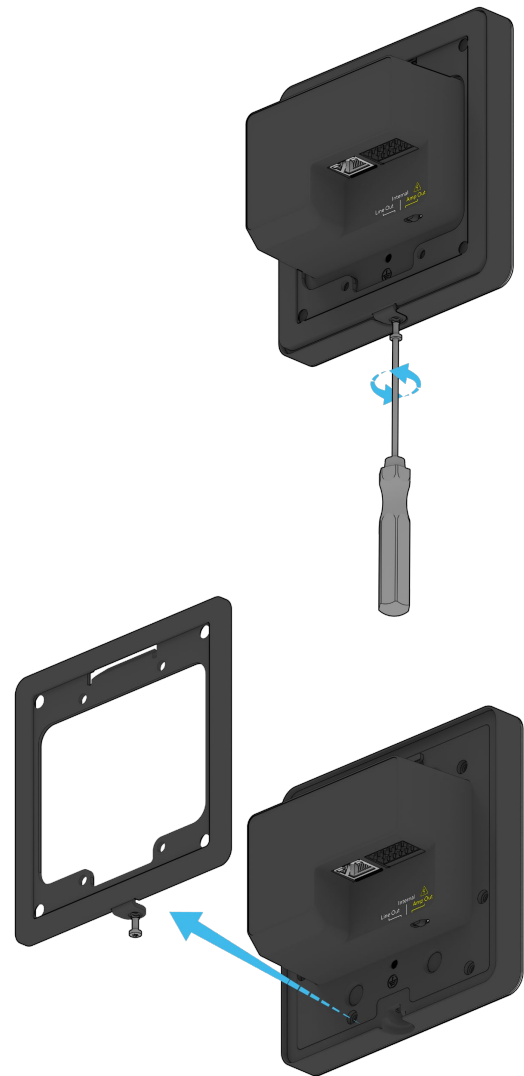
T10トルクスセキュリティドライバーで安全ネジを締めます。



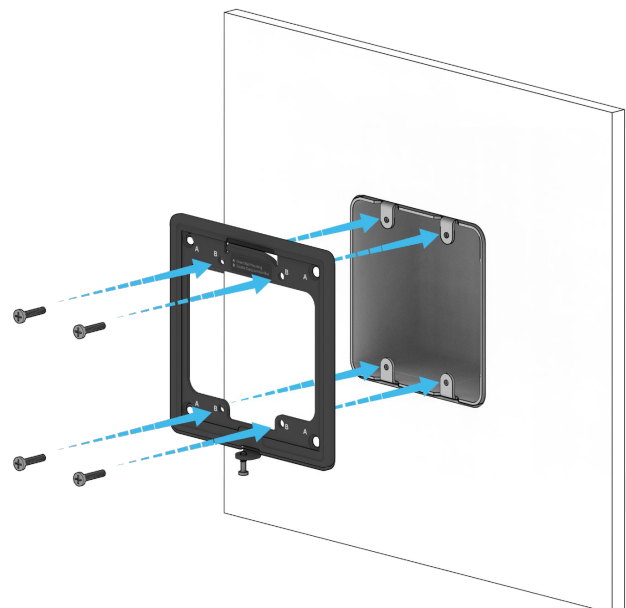
設置方法

ダブルギャングジャンクションボックスの取り付け 1/2

安全ネジを緩め、取付プレートをデバイスから取り外します。



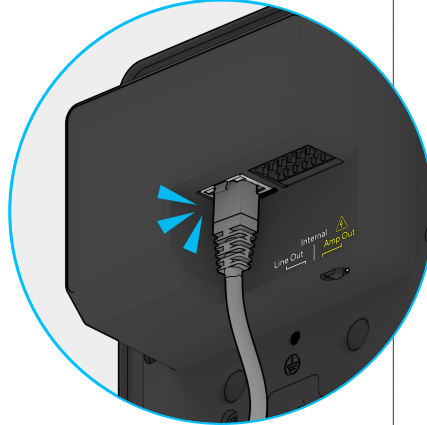
#6または#8ジャンクションボックスネジを使用して取付プレートをジャンクションボックスに設置します。



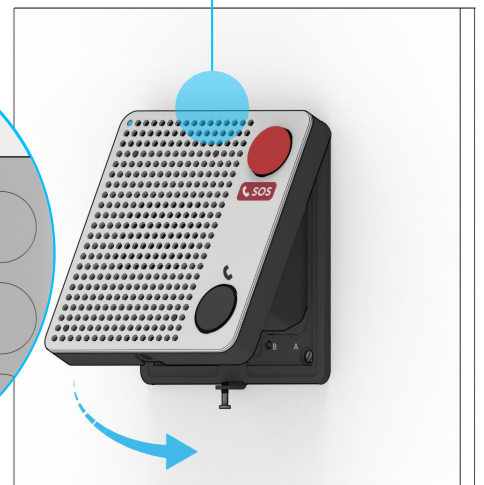
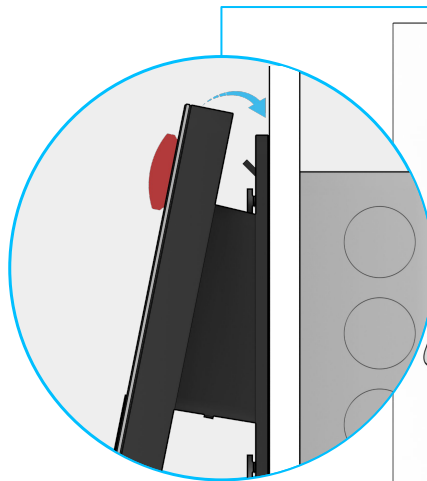
設置

ダブルギャングジャンクションボックスの取り付け 2/2

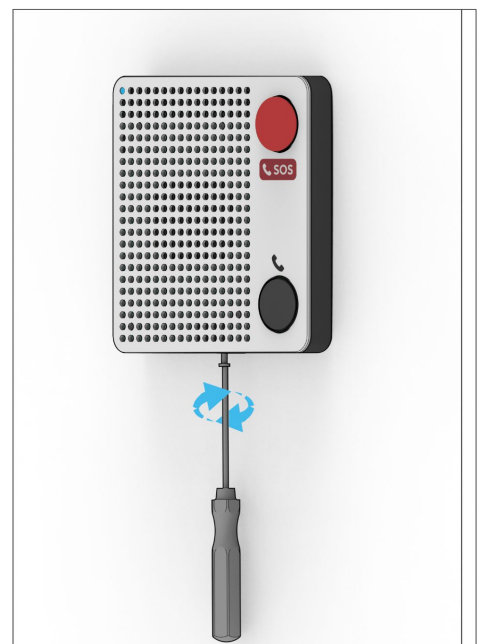
イーサネットケーブルを取付プレートに通し、デバイスに差し込みます



デバイスを取付プレートに引っ掛けます。



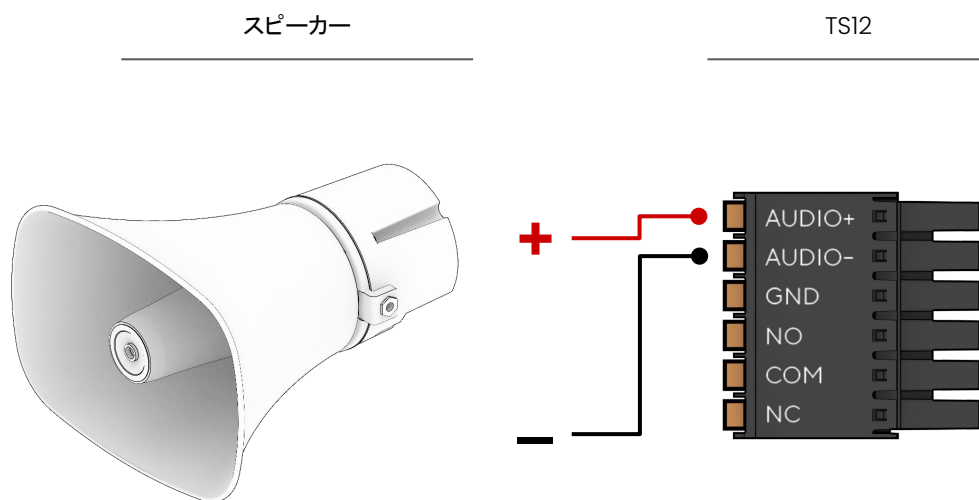
T10トルクスセキュリティドライバーで安全ネジを締めます。



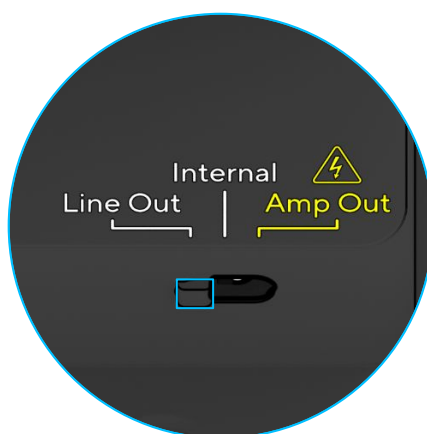
設置方法

外部スピーカーの接続

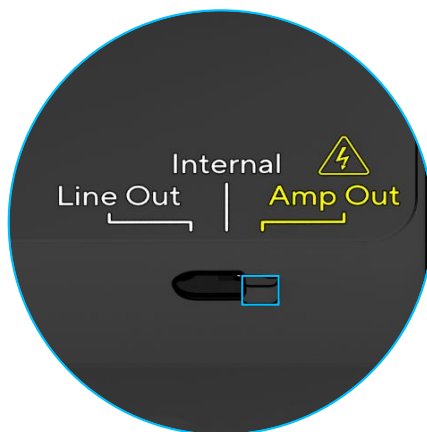
配線図



電源の選択



インターホンから外部スピーカーへ、ラインレベルの音声出力されます。外部音声アンプが必要です。



インターホンから外部スピーカーへ、増幅された音声出力されます。

警告

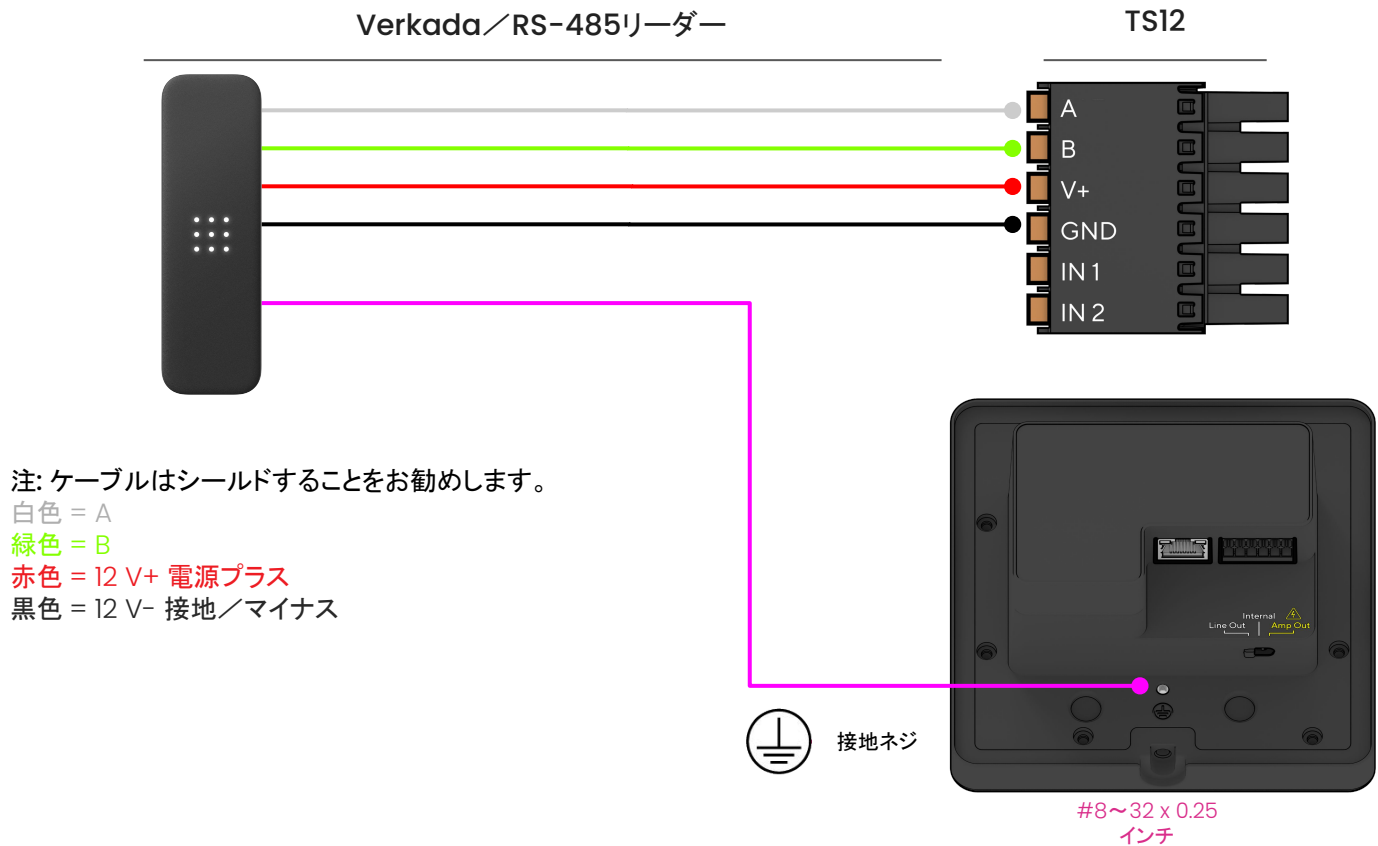
スピーカーにアンプが内蔵されている場合、高電圧によってスピーカーが損傷するおそれがあります。スピーカーの推奨インピーダンスは4Ωまたは8Ωです。

設置方法

配線方法

リーダー

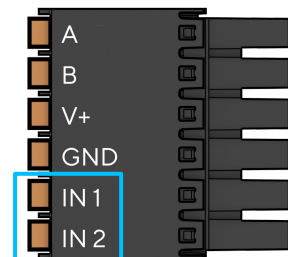
TS12は、「+」および「-」接続を介して12 V・250 mAの電力をVerkadaリーダーに供給すると評価されています。ドレイン線はリーダー側で接地する／アースすることを推奨します。注: ラッチオフ機能による電流制限があるため、12 V電源はその他の周辺機器の電源に使用しないでください。



入力

TS12には一般用途の2点のドライ入力があります。デバイスは通常、ドア位置インジケータ(DPI)、退出要求(REX)、外部通話トリガーなどのドライ接点に接続されます。いずれの入力もノーマルオープン(NO)が想定されています。各入力について、1本の導線がINピンに、もう1本がGNDピンに接続されている必要があります。関連するイベントはすべてCommandに記録されます。

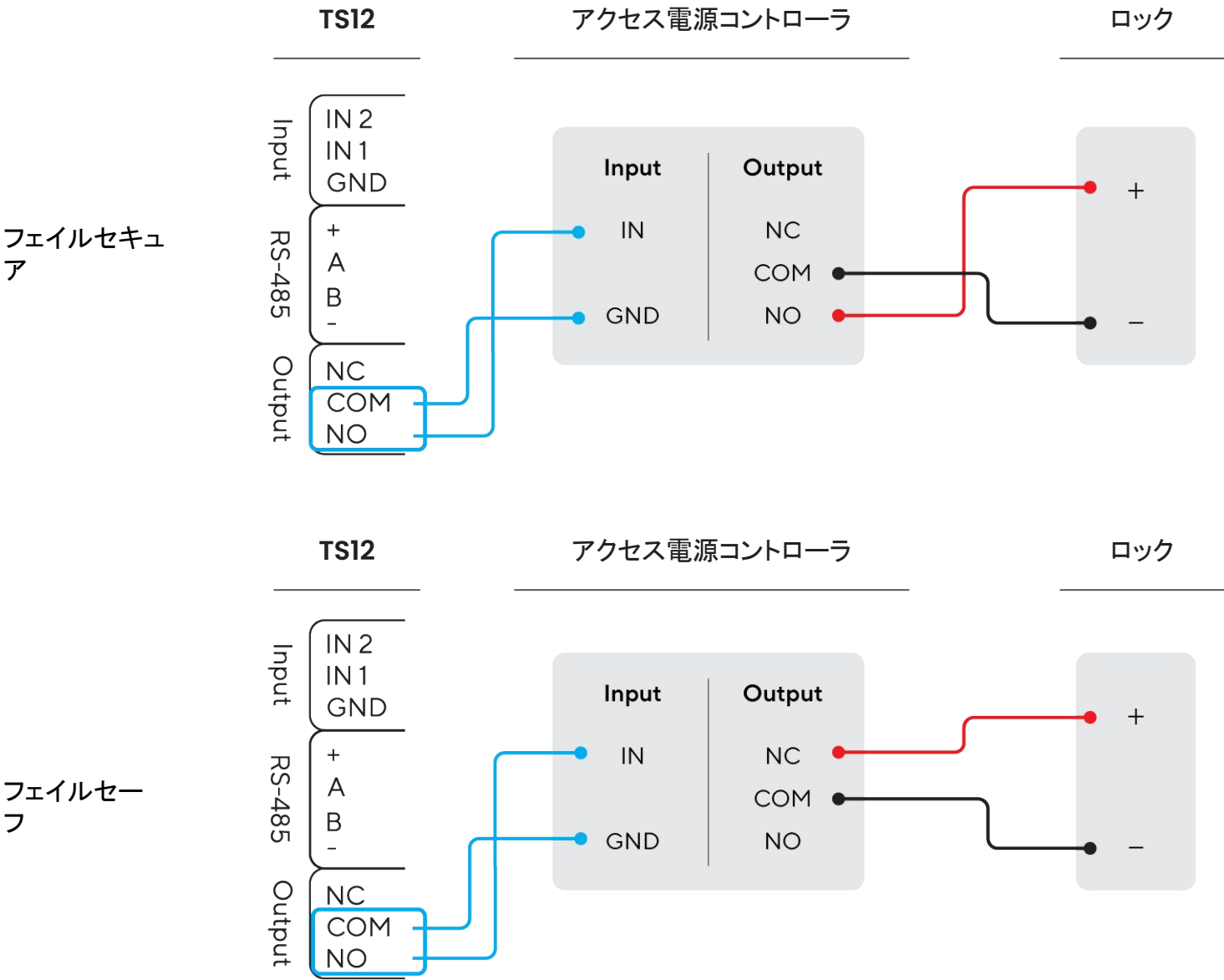
注: TS12を単一のドアコントローラとして設定する場合、DPIはIN 1に接続し、REXはIN 2に接続する必要があります。コールトリガーは、IN 1またはIN 2のいずれかに接続できます。



設置方法
配線方法

出力

TS12には1点のドライフォームCリレー出力があるため、出力端子をアクセスパワーコントローラに接続することで、ドアロックのトリガーとして使用できます。詳細は以下のとおりです。出力リレーは汎用出力としても使用できます。フェイルセーフロックの場合、デフォルトでロックできるようプラス(+)をNCに接続する必要があります。フェイルセキュアロックの場合、デフォルトで施錠するためにプラス(+)はNOに接続する必要があります。



注: UL294コンプライアンスに準拠するためには、TS12に接続されたすべてのデバイスが、UL294およびULC 60839-II-1のリストに登録されている必要があります。



付録

コンプライアンス 1/2

FCC 準拠	この装置は、FCC 認証規則の第 15 部に準拠しています。操作する際に、次の 2 つの条件が適用されます。 (1) この装置が有害な干渉を引き起こさず、かつ (2) この装置が受信したあらゆる干渉に耐えられる必要があり、これには望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉が含まれます。 この機器は、FCC 規則第 15 部に従ってテストされ、クラス B デジタルデバイスの規制に準拠していることが確認されています。 これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して適切に保護するために設計されています。 この機器は、高周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。 ただし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。 この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源を切ったり入れたりすることで判断可能）、以下の手段で干渉の修正を試みることを推奨します。 ● 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える。 ● 機器と受信機の間隔を広げる。 ● 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。 ● 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。 FCC 認証に関する注意： コンプライアンスに責任を持つ当事者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。 この送信機は、ほかのアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、同時に使用したりしてはいけません。
IC 認証情報	このデバイスは、ISED のライセンス免除 RSSI に準拠しています。操作する際に、次の 2 つの条件が適用されます。 (1) この装置が有害な干渉を引き起こさず、かつ (2) この装置が受信したあらゆる干渉に耐えられる必要があり、これには望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉が含まれます。 Le présent appareil est conforme aux CNR d'ISED applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable, et (2) ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable.

警告

1. デバイスは、外部施設への経路指定なしで PoEネットワークにのみ接続されます。
2. 電源アダプタについては、認定販売店にお問い合わせください。
3. このデバイスは、ULリストに登録された PoE (Power over Ethernet) 電源からの供給を意図しています。
4. 電源アダプタから電力を供給する場合、アダプタは適切に接地する必要があります。
5. このデバイスは、緑と黄のストライプの接地線を使用して接地してください。導体接続部の太さは 18AWG 以上である必要があります。

付録 サポート

この度はVerkada製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。何らかの理由で問題が発生した場合、またはサポートが必要な場合は、24時間年中無休のテクニカルサポートチームまで、すぐにご連絡ください。

よろしくお願いいたします。
Verkadaチーム一同
verkada.com/support